

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年03月27日

計画の名称	小樽港における安全・安心な港湾環境の形成（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	小樽市												
計画の目標	老朽化の著しい既存港湾施設の計画的な改良を行い、安全・安心な港湾環境の形成を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	500	A	497	B	0	C	3	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.6	%

番号	計画的成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H27当初）	（H29末）	（H31末）
1	老朽化により港湾施設利用の安全性が低下し、施設利用に支障が生じているため、係留施設の改良により、荷役の効率性・安全性の向上を図る。 安全で効率的な荷役作業が可能となる空間の割合を算出する。 （係留施設の危険箇所の解消率）=（安全で効率的な荷役作業が可能となった延長（293m））/（改良されていない係留施設の延長（293m））	0%	48%	100%
2	老朽化により安全性が低下しているため、臨港道路の改良により、安心・安全な港湾環境の形成を図る。 老朽化で安全性が低下した道路の危険路線を解消した延長が全体に占める割合を算出する。 （道路の危険路線の解消率）=（改良実施延長（80m））/（改良されていない延長（80m））	0%	100%	100%
3	老朽化により安全性が低下しているため、臨港道路（舗装）の改良により、安心・安全な港湾環境の形成を図る。 老朽化で安全性が低下した道路（舗装）の危険解消した割合を算出する。 （道路（舗装）の危険路線の解消率）=（老朽化による危険度が解消された範囲（1,200m））/（改良されていない延長（1,200m））	0%	39%	100%
4	老朽化により機能が低下しているため、保安施設（監視装置）の改良により、安心・安全な港湾環境の形成を図る。 老朽化で機能が低下した保安施設（監視装置）の解消した割合を算出する。 （低下した保安機能の解消率）=（適正な保安が確保された範囲（370m））/（適正な保安が確保されていない範囲（370m））	0%	0%	100%
5	老朽化により安全性が低下しているため、護岸の改良により、安心・安全な港湾環境の形成を図る。 老朽化で安全性が低下した護岸の危険解消した割合を算出する。 （護岸の危険箇所の解消率）=（老朽化による危険度が解消された範囲（50m））/（改良されていない範囲（50m））	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	北海道	小樽市	直接	小樽市	重要	改良	岸壁の改良(附帯施設改良)	L=293m(防舷材、オーバーレイ)	小樽港中央地区					104		策定済	
	A02-002	港湾	北海道	小樽市	直接	小樽市	重要	改良	臨港道路の改良	道路改良L=80m	小樽港中央地区					29		策定済	
	A02-003	港湾	北海道	小樽市	直接	小樽市	重要	改良	臨港道路の改良(舗装オーバーレイ)	L=1,200m	小樽港手宮・中央地区					68		策定済	
												H28以前:別計画							
	A02-004	港湾	北海道	小樽市	直接	小樽市	重要	改良	保安施設の改良(監視装置)	監視装置改良 1式	小樽港中央地区					122		-	
	A02-005	港湾	北海道	小樽市	直接	小樽市	重要	改良	護岸の改良	付属工・陸上地盤改良工 L=50m	小樽港手宮地区					174		策定済	
											小計					497			
											合計					497			

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	C02-001	港湾	北海道	小樽市	直接	小樽市	重要	改良	照明の整備	歩道照明 4基	小樽港中央地区						3	-	
		港湾事業（臨港道路の改良）と一体的に照明を整備することにより、安全性の向上を図る。																	
											小計						3		
											合計						3		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 小樽市産業港湾部港湾室において実施	事後評価の実施時期 事業終了後、令和2年3月
	公表の方法 小樽市ホームページ、小樽市産業港湾部港湾室港湾整備課
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ol style="list-style-type: none"> 1.老朽化により安全性が低下している係留施設の改良を行った箇所について、安心・安全な港湾環境が形成され、効率的な荷役作業が可能となった。 2.老朽化により安全性が低下している臨港道路の改良を行った路線について、安心・安全な港湾環境が形成され、円滑な港湾車両の通行が可能となった。 3.老朽化により安全性が低下している臨港道路（舗装）の改良を行った路線について、安心・安全な港湾環境が形成され、円滑な港湾車両の通行が可能となった。 4.老朽化により機能が低下している保安施設（監視装置）の改良を行った範囲について、安心・安全な港湾環境が形成され、適正な保安機能が確保された。 5.老朽化により安全性が低下している護岸の改良を行っているが、全工種を完了させなければ改良効果が発揮されないことから、現状としては安心・安全な港湾環境が形成されていない。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ol style="list-style-type: none"> 1.臨港道路の改良と一体的に照明を整備した結果、より安全性の向上が図られた。
特記事項（今後の方針等）	
<p>社会資本整備総合交付金の目的に即して引き続き次期整備計画（R2～R6）においても、当「計画の目標」である、老朽化の著しい既存港湾施設の計画的な改良を行い、安心・安全な港湾環境の形成を目指すことを目標に、本計画で最終実績値が100%とならなかった指標について引き続き実施していくとともに、今後においても、老朽化が著しい既存港湾施設の計画的な改良を実施していく。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	係留施設の危険個所の解消率	
	最終目標値	100%
2	道路の危険路線の解消率	
	最終目標値	100%
3	道路（舗装）の危険路線の解消率	
	最終目標値	100%
4	低下した保安機能の解消率	
	最終目標値	100%
5	護岸の危険個所の解消率	
	最終目標値	100%

厳しい予算状況の中、優先順位を付けつつ施設整備を推進した結果であり、未整備部分については次期整備計画（R2～R6）により実施する。

目標が達成された。

厳しい予算状況の中、優先順位を付けつつ施設整備を推進した結果であり、未整備部分については次期整備計画（R2～R6）により実施する。

厳しい予算状況の中、優先順位を付けつつ施設整備を推進した結果であり、未整備部分については次期整備計画（R2～R6）により実施する。

厳しい予算状況の中、優先順位を付けつつ施設整備を推進した結果であり、未整備部分については次期整備計画（R2～R6）により実施する。

計画の名称	小樽港における安全・安心な港湾環境の形成（防災・安全）		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）	交付対象	小樽市

小樽港

